

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ(第276回)

日時 令和元年10月29日(火) 午後1時半～3時半

場所 参議院議員会館 1階 102会議室

千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「102会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議題 1、最近の交通情勢について想う

挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)

2、いわゆる「あおり運転」等の悪質・危険な運転への対応について

3、高齢運転者の交通事故防止対策に係る警察庁の取組について

4、秋の全国交通安全運動期間中の交通事故発生状況

解説 警察庁交通企画課 西村仁崇課長補佐(警視)

報告 去る9月24日開催の第275回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について想う」と題して開会挨拶がありました。警察庁は、高齢運転者による事故対策、自動運転のグレードアップに加え、あおり運転の厳罰化に向けて施策を立てるべく、多忙な日々をおくっているようだ。私は現在保険会社に勤務しているが、現在進行形であおり運転の被害に遭っている状況を警察に伝えられないか、という

話が出た。緊急通報サービスという会社のコールセンターは警視庁のみ直通しており、他の県で被害に遭うと対応が遅れが出る。今の段階で一番良いのはサービスエリアまで逃げ、ドアを固く閉じて110番するのが最善ということになる。

次に、警察庁交通局交通企画課西村仁崇課長補佐(警視)より、「交通事故統計(8月末及び9月23日まで)」について、解説がありました。7月は51人減少、8月は18人減少となっている。9月に入り8人増加しているが、年間では2155人で246人の減少となっている。

次に、「令和元年秋の全国交通安全運動の実施」について解説がありました。秋の全国交通安全運動は、9月21日から30日までの10日間実施する。10～12月には、高齢歩行者の横断中と薄暮時間帯の死者数が1～3月に比べ3割増加し、高齢者の自転車乗用中死者数は同じく4割以上増加する。歩行者や自転車乗用車の7～8割には何らかの違反があり、各県警において対策を強化していく。

次に、「自動運転の公道実証実験に係る道路使用許可基準の改訂」について解説がありました。自動運転に係る制度整備大綱に基づき、公道実証実験においては、一般の道路利用に支障が生じないように、当面時速20kmを超えない速度を想定している。事業化を見据え、乗員の安全にも十分配慮したものであることなどが盛り込まれている。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出された。◎高齢者の歩行中に違反が多いのは、歩行速度が遅くなり、少しでも近道をと考えて斜め横断が多くなること、足が衰えていることに対する自覚が薄い、周囲が黄色信号で横断したのにつられて横断し、途中で躓かれる、などが考えられる。◎海外に比べて日本は狭い道が多いのも歩行者の死亡事故が多い要因の一つになっている。◎高齢の有名人が免許を自主返納したというニュースが採り上げられると、影響を受けて自主返納が増えるらしい。

★ 資料代 会員500円
次回、10月29日(火)の交通部会(参)に

出・欠 (いずれかに○印)

事務局宛FAX 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様のFAX _____ 電話 _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

(その際の会費は二千元となります。)